



図4-9 盛土の沈下量推定結果(連動ケース)

③リスクが大きいとされた箇所の詳細な検討

連動ケースにおいて盛土の沈下量が1mを上回ると判定され、沈下のリスクがかなり大きいと考えられる箇所は、**図4-9**に示すように国道4号線一関～平泉付近の3地点と国道45号線陸前高田付近の2地点の計5地点であった。

以下では、それぞれの盛土箇所について、周辺の地形図や防災点検結果をもとに危険度を個別に確認した。

1) 国道4号線一関～平泉付近の3地点

表4-13に3地点の沈下量推定結果と道路防災点検のデータの一部を一覧表として示した。

この表から、3地点は換算水平震度が0.4であるがいずれも評価点数13～15点と高いため推定沈下量が大きい結果となっている。

防災点検データから、評価点数を上げている主な要因を抽出すると、「集水地形である」、「基礎地盤がかなり軟弱である」、「地下水位が高い」、「変状が認められる」という点が上げられる。

次に3地点を地形分類図上にプロットしたものを、**図4-10**に示す。図幅ではF009地点とF012地点は谷底平野と丘陵地の境界付近に位置しており、F013地点は砂礫段丘と谷底平野の境界付近に位置している。道路防災点検データでは3地点とも傾斜地にあることから、盛土は谷底平野を埋める形であると考えられる。

以上から3地点の盛土は原地盤の谷底平野が液状化する可能性は低いと考えられる。

表 4-13 沈下量推定結果および道路防災点検のデータ一覧(一関～平泉付近の3地点)

地点番号		F009	F012	F013	
沈下量 推定結果	緯度	38.948811	38.956167	38.961500	
	経度	141.124444	141.126667	141.124278	
	評価点数	15	14	13	
	計測震度	5.552	5.697	5.544	
	換算水平震度	0.4	0.4	0.4	
	推定沈下量(m)	1.24	1.14	1.05	
道路防災総 点検のデー タ	所在地	岩手県一関市中里字沢田	岩手県平泉町字大平	岩手県平泉町字大平	
	地形	傾斜地(両盛土部)	傾斜地(片切・片盛土部)	傾斜地(両盛土部)	
	地山勾配	3.8	17.16	1.26	
	集水地形	沢部横断面所で排水施設が 不十分	沢部横断面所で排水施設が 不十分	集水地形で排水施設が 不十分	
	基礎地盤	かなり軟弱	かなり軟弱	かなり軟弱	
	地下水位	地下水位が高い	地下水位が高い	地下水位が高い	
	盛土高さ(m)	上	6.6	8.5	6.8
		下	0.0	8.5	5.8
	法面勾配	上	標準勾配を満 足していない	標準勾配を満 足している	標準勾配を満 足している
		下	標準勾配を満 足している	標準勾配を満 足している	標準勾配を 満足してい る
写真・ スケッチ	・法面に1mの表層すべりが生 じている。 ・法尻が湿潤。	・法面に70cmの滑落崖が生じ ている。 ・路面の沈下 ・法尻が非常に湿潤。	・法面に表層すべり。 ・法尻に湿地帯。		

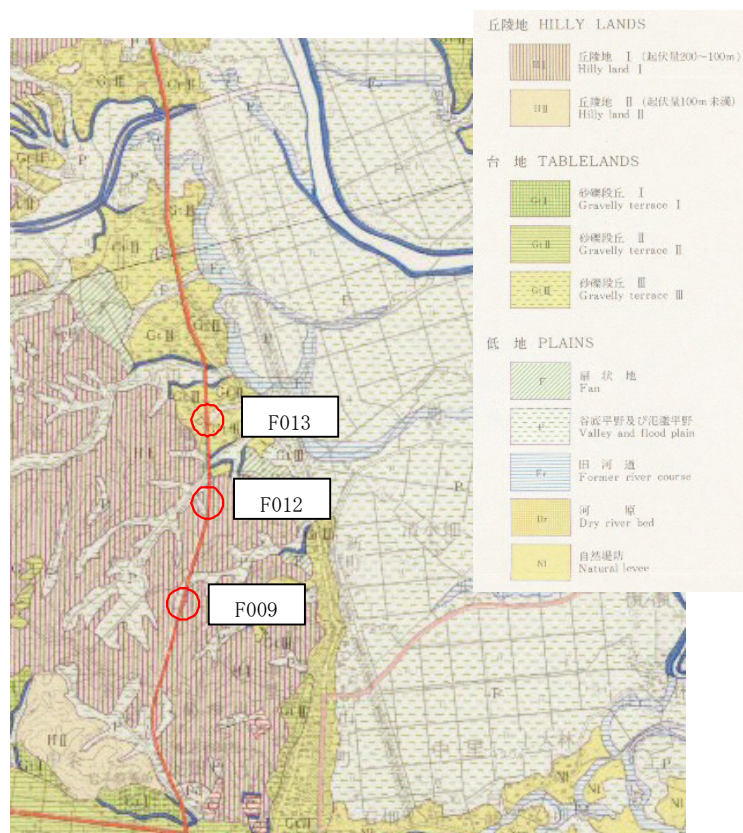


図4-10 盛土位置の地形区分(一関～平泉付近の3地点)